

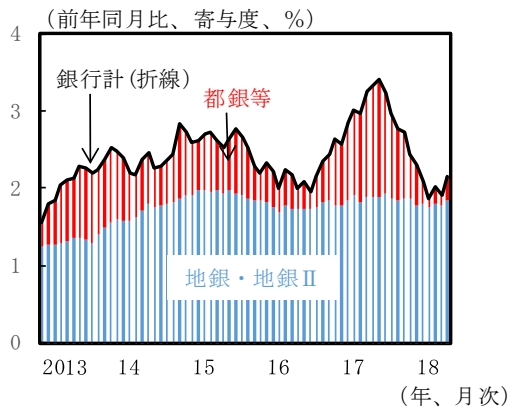
邦銀の海外向け与信の動向

<ポイント>

1. 銀行の国内店貸出は前年比2～3%増程度で推移している。そのうち、地銀・地銀Ⅱの貸出が2%弱程度の寄与となっており、都銀等は今のところ1%未満の寄与となっている（図1）。都銀は海外店の貸出残高が増加傾向にあり、割合は全体の30%を超えている（図2）。
2. 国際与信市場における邦銀の国際与信残高を地域別に見ると、アメリカ向が最も大きく、ついで欧州向、アジア・太平洋向の順となっているが、2006年から現在までの伸び率で見るとアジア・太平洋向が近年高くなっている（図3）。
3. 与信受入側の残高を地域別にみると、欧州が最も大きく、ついでアメリカ、アジア・太平洋となっており、こちらも伸び率で見ると、アジア・太平洋が近年高くなっている（図4）。地域ごとの邦銀からの与信残高を与信受入側の残高で割った国際与信市場における邦銀のシェアは各地域で拡大傾向にある（図5）。
4. 邦銀はこれまで日本企業の海外進出に対して金融面でサポートしてきたことなどもあり、海外現地法人の数は増加傾向にある。地域別にみるとアジアは全地域の中で最も多く、企業経営者の注目の高さが窺える。その要因の一つには収益性の高さが考えられ、現地法人の売上高経常利益率は、アジア地域が他地域と比べて高く、特に製造業が高い（図6）、（図7）。
5. 邦銀は今後も本邦企業のグローバル展開を支えるとともに、世界の高い経済成長を取り込むため、海外向けの与信を重要視していくものと考えられる（図8）。

※本稿は2018年7月27日までに入手したデータを使用している。

図 1：銀行の国内店貸出残高



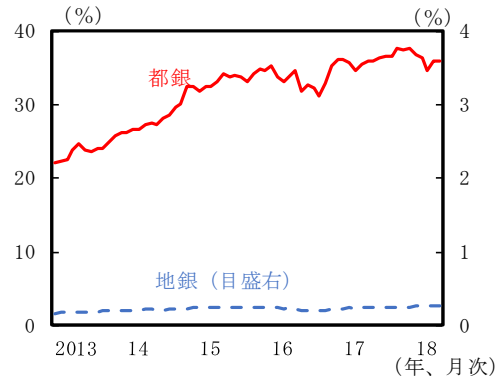
(備考) 日本銀行「貸出・預金動向」により作成。

図 2：都銀と地銀の海外店貸出

(1) 残高



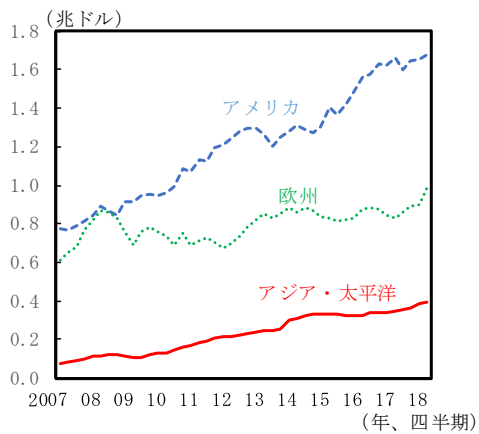
(2) 比率



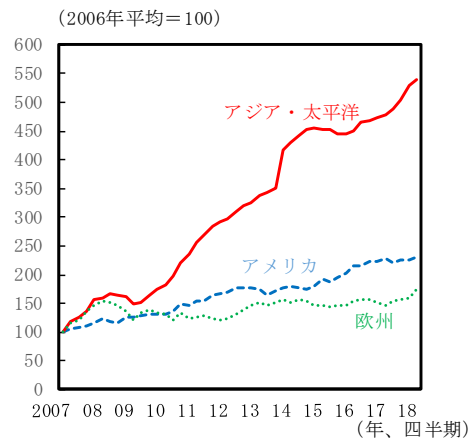
(備考) 日本銀行「民間金融機関の資産・負債」により作成。

図 3：邦銀の地域別国際与信

(1) 残高



(2) 伸び率



(備考) 1、日本銀行「BIS 国際与信統計 (日本分集計結果)」により作成。
2、最終リスクベース。

図 4：与信受入側の国際与信

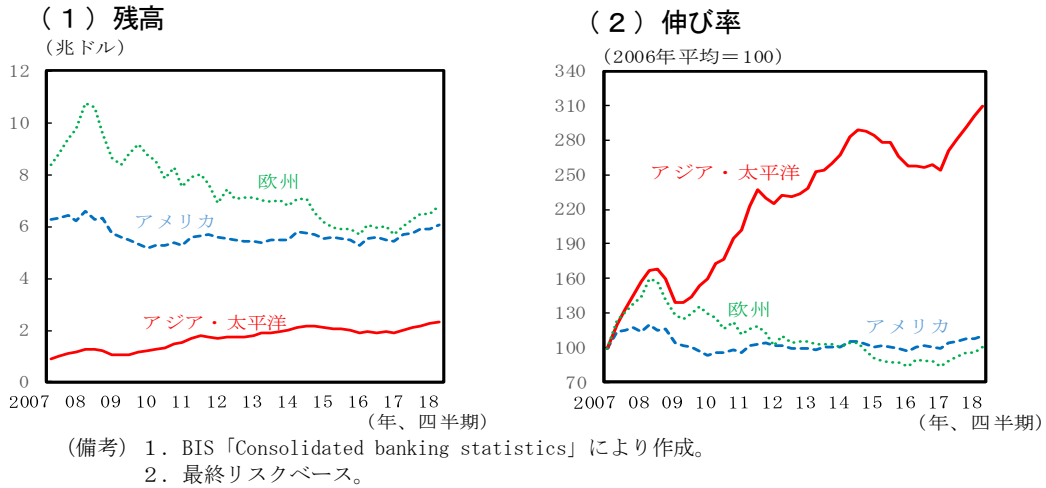
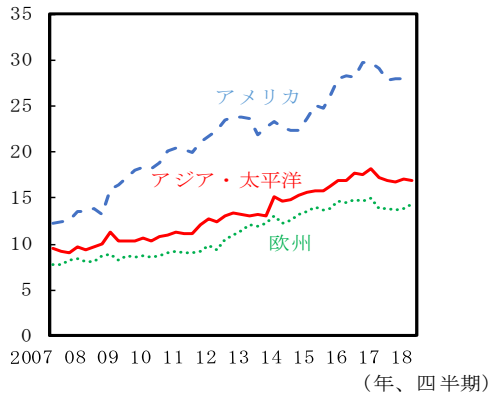
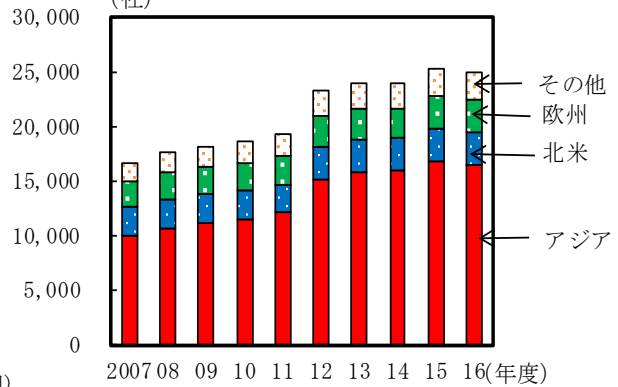


図 5：邦銀の地域別国際与信シェア (%)



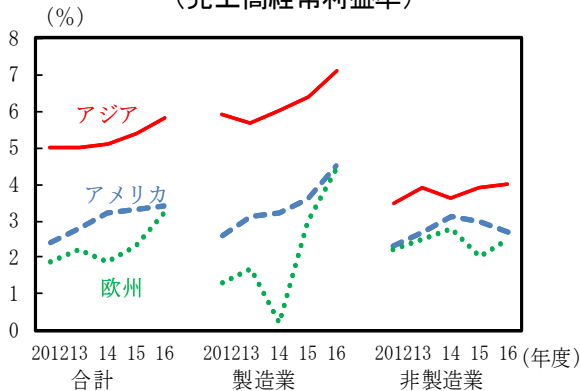
(備考) 1. BIS「Consolidated banking statistics」、日本銀行「BIS 国際与信統計 (日本分集計結果)」により作成。
2. 最終リスクベース。

図 6：地域別海外現地法人数の推移 (社)



(備考) 1. 経済産業省「海外事業活動基本調査」により作成。
2. 各調査年度における調査対象数の違い、回収率の違いには留意する必要がある。

図 7：海外現地法人地域別業種別収益性 (売上高経常利益率)



(備考) 1. 経済産業省「海外事業活動基本調査」により作成。
2. 経常利益、売上高共に回答のあった現地法人で算出。

図 8：世界の経済成長率見通し

(単位：%)

	2017年	2018年予測	2019年予測	2023年予測
世界	3.7	3.9	3.9	3.7
先進国	2.4	2.4	2.2	1.5
米国	2.3	2.9	2.7	1.4
ユーロ圏	2.4	2.2	1.9	1.4
日本	1.7	1.0	0.9	0.5
新興国	4.7	4.9	5.1	5.0
アジア	6.5	6.5	6.5	6.2

(備考) IMF「World Economic Outlook」により作成。

担当：内閣府 政策統括官（経済財政分析担当）付参事官（総括担当）付
関谷 航（直通 03-6257-1565）
本レポートの内容や意見は執筆者個人のものであり、必ずしも内閣府の見解を示すものではない。